

令和6年シラス曳網調査結果 (第3報)

令和6年6月27日
福島県水産海洋研究センター

1 調査日

6月26日

2 調査海域

相馬海域

37-48N 線上 141-00E(水深9m)、141-05E(水深28m)

3 調査手法

調査指導船拓水、中層トロール網(魚捕部の目合い1mm)

水深10m付近(一番灘の定点は表層)を10分間曳網(船速約2kt)

4 調査結果

(1)表面水温(図1)

20.5°C~21.0°C

(2)シラス採捕数(図1)

1 定点あたり 81~308尾 (合計 389尾)

灘側2 定点目について、今回のシラス採捕数(308尾)は前回調査時(6月13日 223尾)と比較し、増加しました。

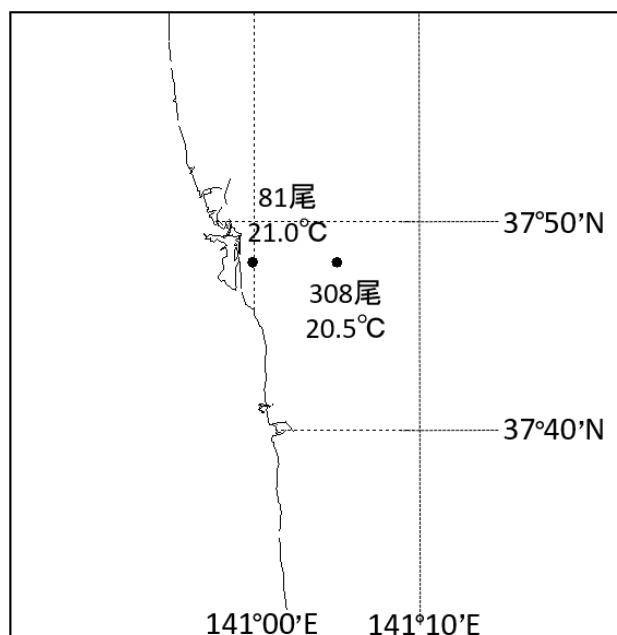


図1 カタクチイワシシラス採捕数

(3)シラス全長(図2)

全長範囲：5.4～33.9mm

全長10mm前後の群、25mm前後の群の2つの群で構成されていました。

141-00E、141-05Eともに10mm前後の群、25mm前後の群の2つの群で構成されており、141-00Eでは25mm前後、141-05Eでは10mm前後のシラスが多く採集されました。

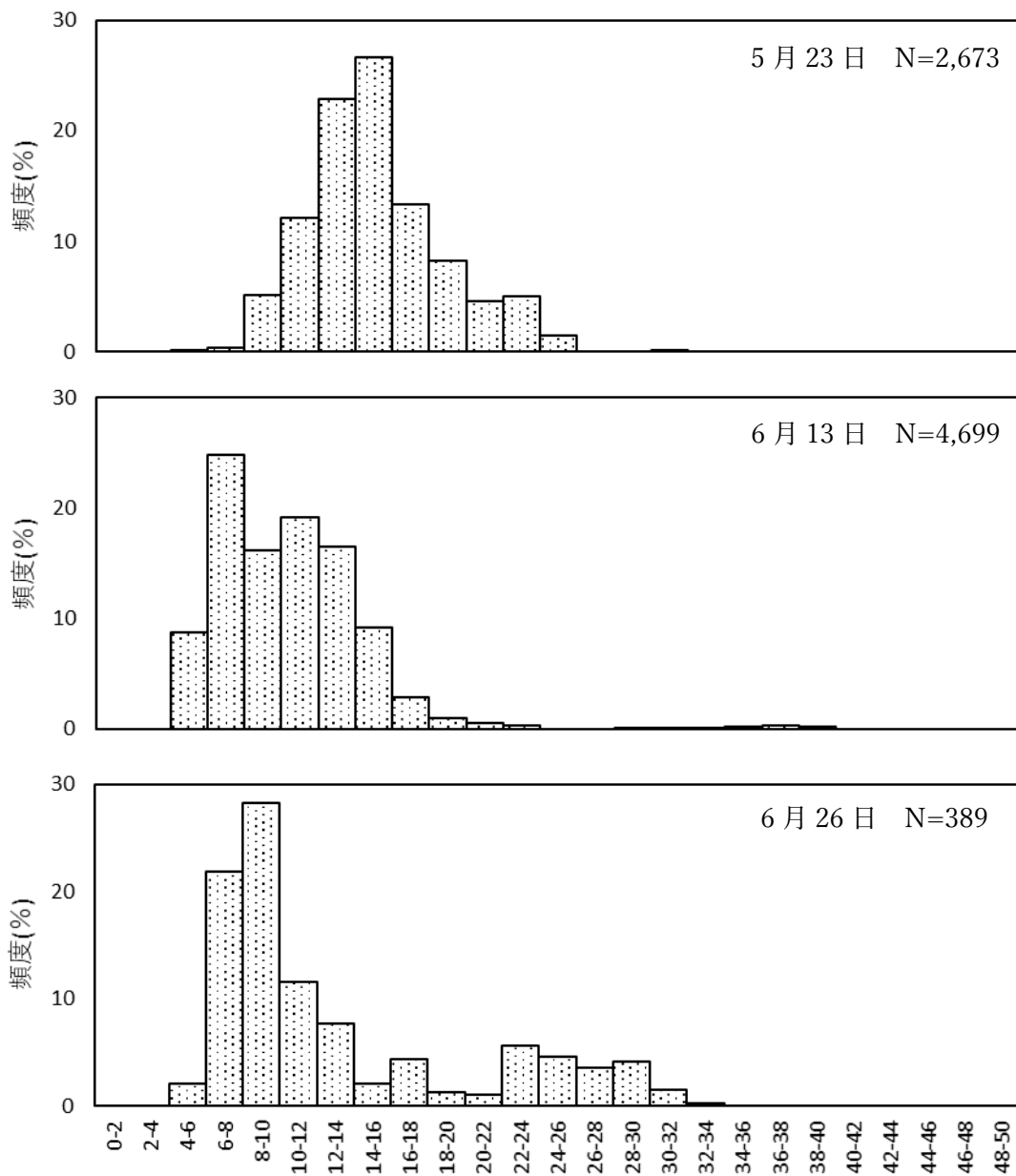


図2 カタクチイワシシラスの全長組成

(4)過去の調査結果との比較(図3)

令和6年6月のシラス採捕数は平成18年以降で2番目に多い結果となりました(図3(a))。なお、福島県の年別シラス漁獲量を(図3(b))に示します。

今年度はいわき地区では6月3日より、相双地区では6月10日よりシラス漁が開始されました。

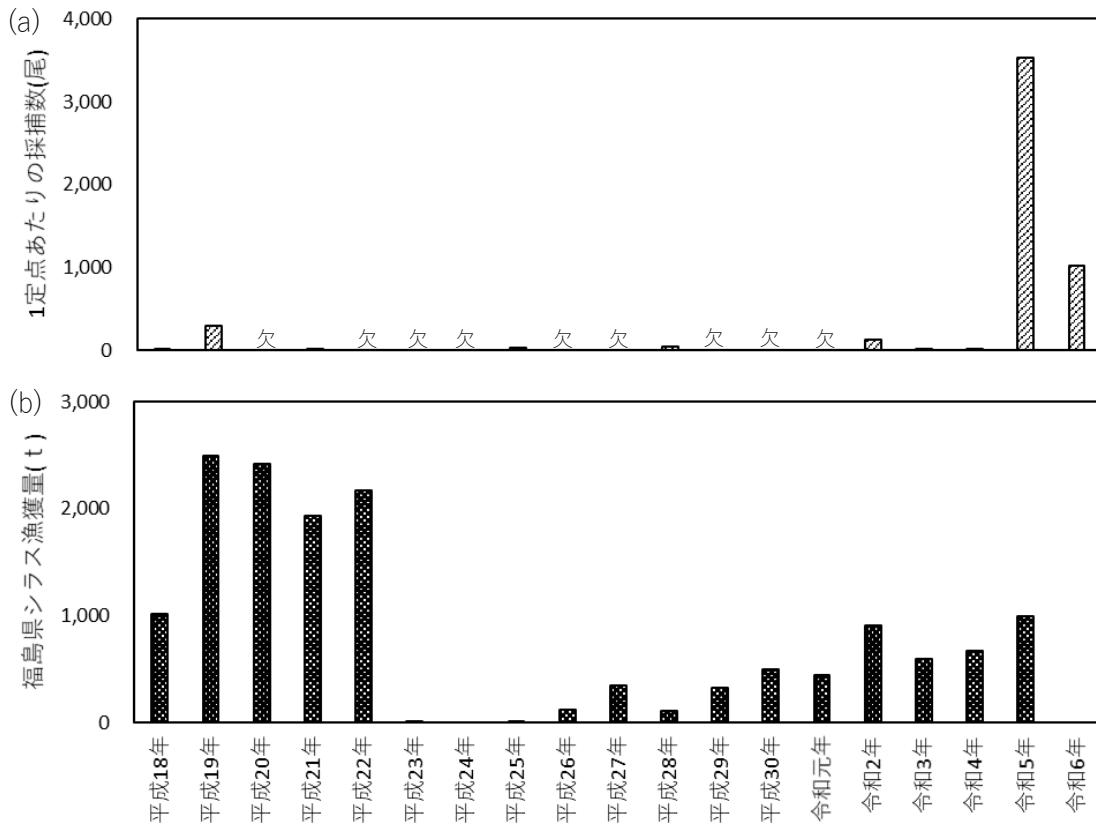


図3 (a)相馬海域における6月の1地点あたりの採捕数
(b)福島県の年別シラス漁獲量